

アフターコロナ 上田西高校の春 規制が緩和され少しずつ元通りの生活へ

千西一遇

第106号
発行
2023年
6月7日(水)
上田西高校
新聞委員会
編集局
編集局長：嶋田 晴佳
新聞委員長：樋口 華
重田 陽菜
金井 菜優
大田 すみれ
佐藤 雪路
レイアウト：樋口 華



今年度の強歩大会の様子 従来の日程での開催に不安の声も聞かれたがゴールした生徒達の顔が達成感に満ち溢れていた

4月28日(金)に令和5年度強歩大会が実施された。好天に恵まれ晴れ渡った空の下、水野一成理事長によるピストルの合図で強歩大会がスタート。コロナ禍になってからは男女共に7キロメートルのコースとなっていたが、今年度は4年ぶりに男子11・5キロメートル、女子7キロメートルとコロナ禍前のコースを走ることとなった。強歩大会終了後には各クラスで親睦会が開かれ、生徒会によってサーティワンやミスタードーナツなどが配布された。

5月6日に書道部、13日には吹奏楽部がイオンスタイル上田の新装開店を祝してそれぞれ書道パフォーマンスとマーチングを披露した。新型コロナウイルスの5類移行を受け学校内外の活動の幅が広がり、元通りの生活が戻りつつある。

(樋口 華)

強歩大会 実施

今年度の強歩大会は、4年ぶりに男子11・5キロメートル、女子7キロメートルとコロナ禍前のコースの復活となった。体育科主任の清水直先生は、「コロナ禍前の従来の形に戻り、生徒の頑張りを認めることができよかった」と話した。体育の授業での練習から熱心に取り組んでいる生徒も多く、本番ではそれぞれに目標をもち、全力でゴールへと向かう姿が見られた。

強歩大会終了後の表彰式は、新型コロナウイルスによる制限が少しずつ緩和されつつあることを受け、コロナ禍となって以来初めて全校が体育館に集まった。体育委員会顧問の白尾秀人先生は「久しぶりに全校が体育館に集まるというところに心配もあったが、盛り上がった。」

(金井 菜優)



4年ぶりに体育館に全校が集まった強歩大会表彰式の様子



体育委員長の塚田麗さん

強歩大会クラス順位

- | | |
|----|------|
| 1位 | 3年3組 |
| 2位 | 3年2組 |
| 3位 | 2年7組 |
| 4位 | 3年1組 |
| 5位 | 3年6組 |
| 6位 | 3年5組 |
| 7位 | 2年5組 |
| 8位 | 2年8組 |

優勝は3年3組

佐藤校長も完走

今年度の強歩大会を制したのは3年3組。ルーム長の市川拓哉さんは、「クラスのみんなの頑張りに感動して涙が出そうになった」と喜びの気持ちを話してくれた。男子1位の3年3組平嶋蓮太郎さんは「去年より順位を上げることができて良かった。普段の部活で体力があったので自然と結果に結びついたと思う」と話した。



トロフィーを掲げる3年3組のルーム長市川さん

昨年引き続き佐藤純也校長が強歩大会を走った。今年度も、男子と同様の11・5キロメートルを完走した就任2年目の佐藤校長は、実は走ることが苦手だという。それでも「歩かないで11・5キロを完走しようという目標を持ち歩くことでゴールした時の達成感を味わえる」と強歩大会に参加。「10キロを超える

生徒会の支援でクラス親睦会開催

強歩大会終了後、各クラスでは親睦会が開催され、これを支援するために生徒会によってアイスクリームやドーナツが配布された。横濱恰全生徒会長により、「何を食えるのかを決めるために話し合う過程で仲が深まること」を狙って企画された。



アイスを仕分ける生徒会役員

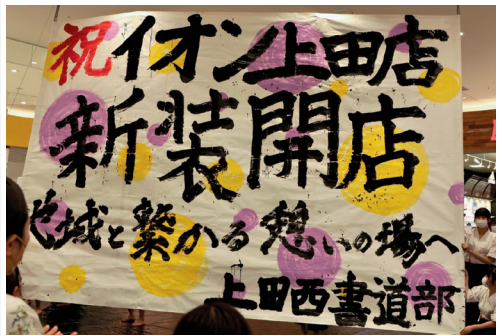
「走り終えたらアイス」を意図した。やドーナツが待っていると考えたとモチベーションになった生徒も多かったのではないかと横濱会長。しかし不手際もあり結果として混乱を招いた。「発注のミスや生徒への説明が足りていなかった」と反省の言葉も口にした。

(樋口 華)



見事完走し野球部の生徒と写真に映る佐藤校長

書道部・吹奏楽部 イオンスタイル上田でパフォーマンス



イオンスタイル上田の新装開店を祝ってパフォーマンスを行う書道部と吹奏楽部 当日は多くの観客が訪れた

イオンスタイル上田新装開店イベントの一環として、5月7日(日)に書道部による書道パフォーマンスが行われ、5月13日(土)には吹奏楽部がマーチングと演奏を披露した。

本格的に書道パフォーマンスを始めて2年目の書道部。今年度も5月5日(金)に善光寺前でパフォーマンスを披露し、1日での日に臨んだ。宮坂祐里奈部長は、「お客さんとの距離が近く緊張したが自信を持ってパフォーマンスをすることが出来た」とパフォーマンスを評価。「細かいミスがあったため更に磨きをかけていきたい。学校のステージより広かったためやりやすかったが、建物汚さないようにするのが難しかった」と反省も述べた。長鋒を使用したパフォーマンスは圧巻であり集まった多くの観客を魅了した。

今年度23人の1年生を迎えた吹奏楽部。この日の発表はマーチングからスタートし、フードコート横からタワーレコード前まで進んだ。その後の演奏では店内に西吹の音色を響かせた。「練習では先生からの指摘が多く不安要素を残したまま本番を迎えた」と話すのは樋口優里奈部長。この日の演奏を「緊張したがお客さんに楽しんでもらえて良かった」と振り返った。人数が増えたことで、前回の演奏力に迫りが増した。「高みを目指せるようになり、今までは違った姿を見せていくことが目標」と樋口部長は意気込んだ。

コロナ禍の影響で活動に制限がかかっていたが、活動も校外での活動を活性化させてきている。書道部、吹奏楽部ともに昨年は全国レベルの大会に出場しており、今年度の飛躍に大いに期待がかかる。

(大田すみれ・佐藤智路)

新任紹介

- ①西高の第二印象
- ②趣味・特技
- ③誕生日
- ④意気込み
- ⑤西高で楽しむなこと



家庭科 小山 恵理先生



国語科・事務 窪田千沙季先生

- ① 懐かしい気持ちになつた。
- ② 本を読むこと、ピアノ。
- ③ 5月13日
- ④ 授業が上手くできないところや不慣れた部分もあるが教員として認めて貰えるようになりたい。
- ⑤ 文化祭を教員側として参加すること。

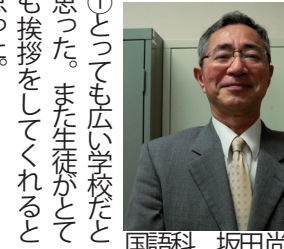
11名の先生方が西高へ



国語科 高畑 由美子先生



数学科 尾澤学先生

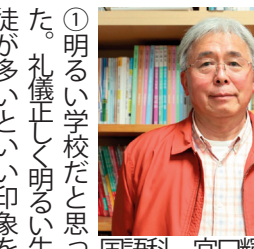


国語科 坂田尚嗣先生



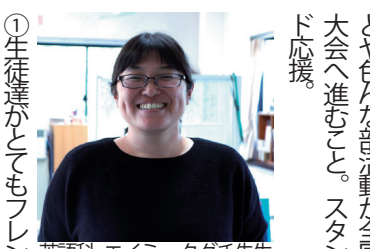
英語科 増田桜子先生

- ① 明るくて素直な生徒が沢山いるなと思った。挨拶をしてくれるし、授業でもちゃんと反応してくれるしとても嬉しい。
- ② 読書、ミシンで着物のリメイク、和服を着る、ウォーキング(学校がない日は一日8キロ歩いてる)、料理。
- ③ 5月22日
- ④ 国語と古本を好きにすること。
- ⑤ 授業でいっぱい発言してくれるようになること。ただ受けてる授業ではなくて自分で考えて先生も考えたことがなかったってなる質問をしてること。



国語科 宮口輝義先生

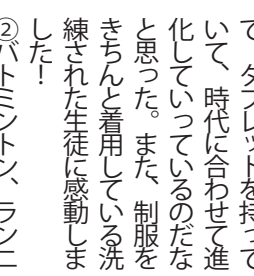
- ① 明るい学校だと思つた。礼儀正しく明るい生徒が多いという印象を持つている。
- ② 古本屋巡りと山登り。デザイン系の本を読む。
- ③ 1月12日
- ④ この授業をとってよかったなと思つてもうえるような授業をする。
- ⑤ 西高に来ること。上田に来ると懐かしい気持ちになる。



英語科 エイミータチ先生

- ① 授業をやってみてみな真面目だと思つた。1年生の授業しか持っていないけれど県立の高校よりちゃんとしていると感じた。
- ② 株式投資と野菜作り。
- ③ 9月28日
- ④ 歳だから1年間健康で教えるぞ！
- ⑤ 野球部の応援をするのと色々な部活動が全国大会へ進むこと。スタンダード応援。

- ① 4年ぶりの西高はみんなマスタク姿になっていて、タブレットを持っていて、時代に合せて進化しているのだからと思った。また、制服をきちんと着用している洗練された生徒に感動しました！
- ② ハトミントン、ランニング、ウォーキング、植物の育成。
- ③ 10月2日(ガンジーと浜崎あゆみと一緒に)
- ④ 生徒みんなからエネルギーを貰いながら、学問の追求を頑張りたいと思います！
- ⑤ 生徒と温かいコミュニケーションをとる。



理科 柴田 裕美子先生

- ① 礼儀正しく明るく人懐っこい生徒がとっても多いと思つた。また自分の夢を持っている生徒が多くて感心した。
- ② 趣味は読書、特技はスキー。
- ③ 最後の教員生活なので今まで自分が学んできたことを生徒に伝えること。
- ④ 2月10日
- ⑤ 教師として皆さんの前に立てるのはあまり長くはないので、精一杯皆さんに伝えられるものを伝えていきたいです。



国語科 和田佳江先生

- ① 駅から近くて、校舎がきれいだなと思ひました。
- ② 旅行です。京都や奈良など玉都に行くことが好きです。
- ③ 1月28日
- ④ 生徒に興味を持ってもらえるような授業をできるように頑張りたいです。
- ⑤ カフェテリアに行つてみたいです。

5類移行で変化する青春
新型コロナウイルスの位置づけが、2023年5月8日に「5類」に移行された。3年余り続いた国のコロナ対策は大きな節目を迎え、今後の感染対策は個人の判断に委ねられる。上田西高校でもコロナウイルスの影響によって様々な行事が中止、プログラム短縮に追い込まれていた。しかし今年の強歩大会ではコロナウイルスの感染状況が落ち着いてきていることから、男子のコースがコロナ禍前と同じルートに戻り、表彰式ではコロナ禍に入ってから初めて全校が体育館に集まることが出来た。今後も様々な行事がコロナ禍前のように行事されること予想される。人生で一度きりの高校生活をコロナウイルスの影響なしで楽しめる日々は近い。

(樋口 華)



英語科 ヒル・レット先生